

令和6年度全国木材資源リサイクル協会連合会

通常総会議事録

開催日時：令和6年5月22日（水）14：30～15：10

場 所：タワーホール船堀 2階福寿
（東京都江戸川区船堀4-1-1）

総会員数：正会員202社+6協会=208団体（うち議決権201）
賛助会員28社、物流会員10社

出 席：正会員49社・6団体 55名

書面表決：55通

委任状：55通 合計165名

事務局員：1名

議 事

- 第1号議案 令和5年度事業報告
- 第2号議案 令和5年度決算
- 第3号議案 令和6年度事業計画
- 第4号議案 令和6年度当初予算
- 第5号議案 職員の給与に関する規程の改正
- 第6号議案 役員交代

報告事項

- (1) 事務局長の交代
- (2) 木材資源リサイクル調査及び広報活動推進委員会活動報告
- (2) 寄附金の募集について

議事内容

司会 専務理事 原 信男

1. 司会からの総会成立の報告

総会の正会員の出席は55名であり、また正会員から110名の書面表決と委任状が提出されている。これは議決権数の過半数を上回っており、総会が成立しているとの報告があった。

2. 理事長挨拶 藤枝慎治 理事長

お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。関東協会の方は先立って行われた関東協会総会に引き続きとなるが、ありがとうございます。令和5年度はコロナ禍が収まり通常の動きになった。チップメーカーでは母材が足りない、入りが弱いという声を聞く。その中で、何とか適正な処理費を確保しながら事業を進めることが出来た。出荷の面においては、品質を確保しながら安定供給を進めることがチップメーカーの命題である

が、ユーザー側からは品質の件で連絡はあるが、大きなトラブルはなかった。

令和6年度においては、資源循環の名のもと脱炭素にいかに取り組むか、廃棄物の処理から資源を生み出すという役割に変わってきた。取り組むことが増えてくる。加えて、ユーザーの要望に応えるべく、CO2削減に努めなくてはならない。本日の参議院本会議で「資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律」が通過した。いま何が必要か勉強しながら進んでいかなくてはならない。環境省は規制が中心だが、経済産業省の資源循環経済課で話を聞いたりすることも大事である。国土交通省では木質資源が建設リサイクル法の特定品目であり、厚生労働省では育成就労制度の見直しがある。また、廃棄物業界が社会に認知されるよう、その他サービス業から飛び出して社会インフラの中の産業として認知されるための活動もしていかなくてはならない。災害廃棄物では奥能登で我々の仲間が活動しているが、災害廃棄物を施設に受け入れた際の税制優遇についても考えていかなければならない。一方、木質チップはこれまで燃料やボード原料となっていたが、ユーザーでは事業イノベーションの戦略として新たな需要が出てくる可能性がある。マテリアルとサーマルの間のケミカルリサイクルの用途が出れば、ユーザーの技術をとらまえてそれに見合った品質基準も考えていく必要がある。また、もちろんカスケード利用が前提であるが、サーマル利用はリサイクルではないという風を打ち破る必要もあり、大変難しい局面にある。化学メーカーが新たな顧客となる可能性もあり、既存のお客様を守っていかなくてはならない。

本日は講演で企業の脱炭素化に向けて求められることをお話いただく。資源循環のど真ん中にある我々が進めていかなくてはならない内容である。本日の総会は、令和5年度の事業報告・収支報告、令和6年度の事業計画案・収支計画案についてご審議いただく。それぞれ慎重審議をお願いするとともに、議事進行へのご協力をお願いし、冒頭のご挨拶とする。

3. 議長選出

本日の総会の議長について、藤枝慎治理事長を議長とすることで了解を求めたところ、全員異議なく承認された。

4. 議事録署名人選出

関東協会の石井伸知氏、九州協会の芦塚雄介氏に議事録署名人となることの了解を得、全員異議なく承認された。

5. 議 事 議長 藤枝 慎治 理事長

議長が、第1号議案について事務局から説明することを求めた。

第1号議案 令和5年度事業報告の確認

資料に基づき、事務局から次の説明があった。

事業の成果の主要な事項について、令和5年度は、物流業界の2024年問題、生産コスト上昇への対応、グローバルな視点での影響などを踏まえ、関係機関と連携して事業を進めた。ま

た、能登半島地震への取組も進めた。

定款の事業に関しては、次の通りである。

1の普及啓発事業は、ホームページの安全性向上のため、SSL化を進めた。また、国等の主催する講習会に事務局及び会員が参加し、情報を得た。

2のイベント、講演等の開催事業は、総会及び木質資源安定供給検討会において講演会を実施した。また、エコプロの展示用パネルを大幅に刷新し、エコプロ2023に出展した。

3の調査・研究事業は、リモートによる調査広報委員会の開催、国への要望、FIT・FIP制度への対応等に取り組んだ。また、木質資源安定供給検討会においてユーザーからScope 3の取り組みについて情報提供があった。

4の情報提供事業は、国や自治体との調整を進めた。

5の援助に関する事業は、地域協会との連携を図った。また、寄附金に関して協力への御礼があった。その他、大阪万博に関連したコンサルのヒヤリングにも対応した。

第1号議案について、詳細に審議したところ、全員異議なく承認された。

議長が、第2号議案について事務局から説明することを求めた。

第2号議案 令和5年度決算

活動計算書、参考資料などに基づき次の説明があった。

経常収益は8,922,522円。経常費用は7,414,488円。当期経常増減額は1,508,034円の増。収入面では、会費収入は会員数の増減により正会員分は240,000円の増、賛助会員分は168,000円の減など、前年度比較で計285,916円の減。支出面では、法定福利費は208,595円の減など。業務委託費は前年にあったカーボンニュートラルWGがなく2,035,000円の減で、前年度比較で計1,996,013円の減はこれが大きな要因。

以上の説明について、矢吹監事から、適正に処理されていることを確認したとの監査報告があった。

第2号議案について、詳細に審議したところ、全員異議なく承認された。

議長が、第3号議案について事務局から説明することを求めた。

第3号議案 令和6年度事業計画

資料に基づき、事務局から次の説明があった。

事業計画の概要について、令和6年度は、海外の紛争の影響、物流業界の2024年問題、能登半島地震の復興支援の取組など、多くの課題がある。会員の皆様と力を合わせて事業に取り組んでいく。

(活動方針及び事業計画)

1. 活動基本方針については例年通りである。
2. 主な事業計画について、普及啓発事業はホームページの活用など。イベント、講演等

の開催事業は効果あるイベントへの出展など。調査・研究事業は先進地域視察、国への要望、木質資源安定供給検討会、災害被災木の活用、Scope 3 としての取組など。特にFIT・FIP制度のGHG基準の導入への対応に関して、燃料供給者は発電所がGHG排出量を計算するための情報を提供することになるなどの説明があった。情報提供事業は例年通り。指導・援助事業は各地域協会との連携など。また、寄附については10%の会員に依存しており、公平性や財政の安定化のため、広く寄附を募る取り組みを進めたい。

第3号議案について、詳細に審議したところ、全員異議なく承認された。

議長が、第4号議案について事務局から説明することを求めた。

第4号議案 令和6年度当初予算

資料に基づき、事務局から次の説明があった。

経常収益は8,809,000円。経常費用は8,789,800円。正味財産増減額は19,200円の増。収入面では、会費は、正会員分は取扱量の減など、賛助会員は会員数の減により256,000円の減。これらにより前年度予算に比べて456,000円の減。なお、正会員の会費は会員数と取扱量で算出するが、令和6年度の会費は資料の通り確定していること。支出面では、給料手当・法定福利費はパート職員の社会保険加入により268,800円の増。このほか各費目とも収入見込みを踏まえて精査して計上し、前年度予算と比較して313,200円の減。

第4号議案について、詳細に審議したところ、全員異議なく承認された。

議長が、第5号議案について事務局から説明することを求めた。

第5号議案 職員の給与に関する規程の改正

資料に基づき、事務局から次の説明があった。

パート職員の社会保険加入に関係して別表1の月額給について1,000円単位の昇給を可能とすること、東京都の最低賃金の改訂を踏まえて別表2の時間給を1,200円からとすること。

第5号議案について、詳細に審議したところ、全員異議なく承認された。

議長が、第6号議案について事務局から説明することを求めた。

第6号議案 「役員交代」

粕谷毅氏が理事を退任することに伴い、梅村真二郎氏を後任とする。

第5号議案について、詳細に審議したところ、全員異議なく承認された。

6 報告事項

(原専務理事)

(1) 事務局長の交代

石出信二が退職し、岩瀬耕二が新しい事務局長に就任した。

(2) 木材資源リサイクル調査及び広報活動推進委員会活動報告

事務局から、資料に基づき令和5年度の活動について次の報告があった。

第1回委員会、第2回委員会、第3回委員会と資料の示したテーマでにより開催し、意見交換した。

なお、令和6年度から3人の委員の交代がある。

(3) 寄附金の募集について

厳しい社会経済情勢であるが、令和6年度は前年度と同額の寄附額を見込んでいるので寄附募集の趣旨にご理解とご賛同をいただき、格別のご協力、ご支援をお願いする。また、広く寄附を募集したいとの趣旨から、今後の募集方法について説明があった。

以上で通常総会におけるすべての審議、報告が終わり、この議事録通り相違ないとして、議長及び議事録署名人において記名捺印する。

令和6年5月27日

議 長 藤枝 慎治 ⑩

議事録署名人 石井 伸知 ⑩

同 芦塚 雄介 ⑩

議事録作成人 原 信男 ⑩